

じました。

さいしよはとうじゆ先生が考えた致良知や五事を正すはいいみからならなかったけど、学習してからいいみをして、とうじゆ先生は人はだれでも美しい心をもっていいことをしり、すてきな言葉を作ってきたとわかりました。とうじゆ先生は、みんなにあいされるほど人助けをし、おはなしになるほど助けをしたとわかりました。

とうじゆ先生のことをふりかえって、先生はしらない人にも教え、とうじゆ先生のおかげで学校があるのかなと思いました。とうじゆ先生は人々が幸せになるようにがんばって自分よりも人をかしくしたりしていたから、とうじゆ先生がしていたことがいつまでもたいせつにうけつがれているのだと思います。

### 「立志祭を終えて」

竹田 ゆきの

とうじゆ先生のことを勉強した時に、とうじゆ先生は、いろいろなことをけいけんしてやさしい人になり、先生にまでなるえらい人になったのがすごいと思いました。

立志祭では、自分のゆめを発表して、うまくいくかなと心配しました。

した。ですが、うまく発表できてうれしかったです。田中さんの話ではいろいろなことがわかり、五事を正すという言葉を教えてもらった時に、自分にはできていないことがわかって、これからはできていないことをがんばってしようと思いました。

あと、とうじゆ先生は、五事を正すの全てをできていてすごい人だと思いました。

### 「立志祭を終えて」

上野 げんしん

立志祭に向けてぼくは、とうじゆ先生について、まなんだり調べたりしました。たとえぼくとうじゆ先生の年表を見たり、とうじゆ先生のいろんな教えをまなんだり、とうじゆ先生の紙しばいなどいろいろしました。ぼくの気に入った教えが何かありました。とくに気に入ったのは「致良知」です。「致良知」の意味は、生まれた時はきれいな心を持っているけど、どんどんよごれていくから正しい行いをして心をきれいにしましょうという意味です。ぼくはこれを聞いて、けんかしている時に思い出したらちゃんとあやまろうと思いました。

立志祭のれんしゆうをしてい

て、うまくできなくてこまっていたけど、家族がアドバイスしてくれたから本番でちゃんとできました。

### 「立志祭を終えて」

桂田 あいと

立志祭の前にかみしばいをよんで全てわかっていたと思っていましたが、カルタをしたり、田中さんの話を聞いてほかにもうとうじゆ先生についてもっといろいろなことがあつてびっくりしました。

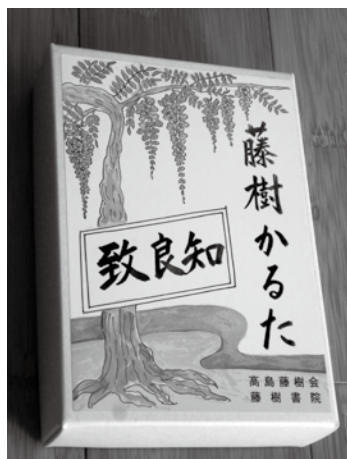
自分のしよう来について考えるのはむずかしいとさいしよは思っていたけど、よく考えてみると、なろうと思っていたものがバレーボールのせん手だったので、自分にもしよう来のゆめがあつたんだと思いました。

とうじゆ先生のことを勉強してから、もっとゆめがかなうようにがんばろうと思いました。



### 「藤樹かるた」の紹介③

(企画広報委員会)



### (かるたと解説)

大洲では 学ぶ与右衛門

お

仲間でき

与右衛門(藤樹先生)は、大洲にいた頃、最初は学問の仲間がいなかった。しかし、真面目に一生懸命、学問をされる先生の姿に影響されて、次第に仲間が増えていった。

